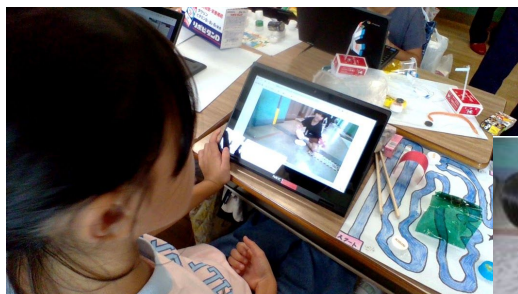


リーディング DXスクール事業【実践事例】

興本扇学園足立区立興本小学校(東京都)【指定校】

【取組内容①】 第2学年 生活科「作ってためして ～めざせおもちゃはかせ～」
「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

本単元では、身近にある物を使っておもちゃを作ったり、そのおもちゃで遊んだりすることで、手作りのおもちゃの楽しさを感じることがねらいである。活動の中で友達と関わり合いながら、友達のよさや協力することの大切さに気付くことを目指した。この活動では「どうやって動かすのか」が大きなテーマとなる。端末のカメラ機能及びオンラインホワイトボードを活用しておもちゃの作成記録を作成し、おもちゃを改良するときに、前時の活動を自分で振り返り、改良を比較することをねらいとした。



成果

オンラインホワイトボードを活用することで、個人の学習の積み重ねができる。ポートフォリオとして、前時の活動を自分で振り返って改良を比較することができ、これまでのおもちゃの進化の軌跡を実感することができていた。また、それらをクラスで一目で共有できる良さがある。

課題

低学年では、ICT機器の操作で手一杯になり、それを活用して教科の学習の中で生かしていくためには工夫が必要となる。そのため、徐々に使い慣れて成果を積み重ねていけるよう、日常的にICT機器の操作を取り入れている。

リーディング DXスクール事業【実践事例】

興本扇学園足立区立興本小学校(東京都)【指定校】

【取組内容②】 第5学年 家庭科 「持続可能な社会へ 物やお金の使い方」
情報活用能力の育成

本題材は、資源や環境を大切にすることによりよい生活を目指して、「持続可能な社会」などの視点から、課題をもって、物や金銭の使い方と買い物について考えていくことをねらいとしている。

主体的に生きる消費者として状況や目的に応じた判断や行動ができるよう、様々な情報を集めたり整理したりして、品質の良い物や環境や資源に配慮した物を選ぶことの大切さを実践的な学習を通して気付かせることをねらった。オンラインホワイトボードを活用しポートフォリオとして学習の記録を重ね、いつでも振り返ることができるようにした。



ベーコンの選び方		B ハーフベーコン	C プロットベーコン
価格	398円	299円	267円
内容量	155g	80g	150g
賞味期限	2024年12月31日	2025年1月15日	2024年12月27日
原材料名	豚ヒレ肉(国産)、食塩、亜硝酸ナトリウム、リン酸塩、ビタミンB1、ビタミンB6、ビタミンE、ビタミンC、ビタミンD、ビタミンK、ビタミンB12、ビタミンA、ビタミンH、ビタミンM、ビタミンN、ビタミンP、ビタミンQ、ビタミンR、ビタミンS、ビタミンT、ビタミンU、ビタミンV、ビタミンW、ビタミンX、ビタミンY、ビタミンZ、ビタミンAA、ビタミンBB、ビタミンCC、ビタミンDD、ビタミンEE、ビタミンFF、ビタミンGG、ビタミンHH、ビタミンII、ビタミンJJ、ビタミンKK、ビタミンLL、ビタミンMM、ビタミンNN、ビタミンOO、ビタミンPP、ビタミンQQ、ビタミンRR、ビタミンSS、ビタミンTT、ビタミンUU、ビタミンVV、ビタミンWW、ビタミンXX、ビタミンYY、ビタミンZZ、ビタミンAAA、ビタミンBBB、ビタミンCCC、ビタミンDDD、ビタミンEEE、ビタミンFFF、ビタミンGGG、ビタミンHHH、ビタミンIII、ビタミンJJJ、ビタミンKKK、ビタミンLLL、ビタミンMMM、ビタミンNNN、ビタミンOOO、ビタミンPPP、ビタミンQQQ、ビタミンRRR、ビタミンSSS、ビタミンTTT、ビタミンUUU、ビタミンVVV、ビタミンWWW、ビタミンXXX、ビタミンYYY、ビタミンZZZ、ビタミンAAA、ビタミンBBB、ビタミンCCC、ビタミンDDD、ビタミンEEE、ビタミンFFF、ビタミンGGG、ビタミンHHH、ビタミンIII、ビタミンJJJ、ビタミンKKK、ビタミンLLL、ビタミンMMM、ビタミンNNN、ビタミンOOO、ビタミンPPP、ビタミンQQQ、ビタミンRRR、ビタミンSSS、ビタミンTTT、ビタミンUUU、ビタミンVVV、ビタミンWWW、ビタミンXXX、ビタミンYYY、ビタミンZZZ	豚ヒレ肉(国産)、食塩、亜硝酸ナトリウム、リン酸塩、ビタミンB1、ビタミンB6、ビタミンE、ビタミンC、ビタミンD、ビタミンK、ビタミンB12、ビタミンA、ビタミンH、ビタミンM、ビタミンN、ビタミンP、ビタミンQ、ビタミンR、ビタミンS、ビタミンT、ビタミンU、ビタミンV、ビタミンW、ビタミンX、ビタミンY、ビタミンZ、ビタミンAA、ビタミンBB、ビタミンCC、ビタミンDD、ビタミンEE、ビタミンFF、ビタミンGG、ビタミンHH、ビタミンII、ビタミンJJ、ビタミンKK、ビタミンLL、ビタミンMM、ビタミンNN、ビタミンOO、ビタミンPP、ビタミンQQ、ビタミンRR、ビタミンSS、ビタミンTT、ビタミンUU、ビタミンVV、ビタミンWW、ビタミンXX、ビタミンYY、ビタミンZZ、ビタミンAAA、ビタミンBBB、ビタミンCCC、ビタミンDDD、ビタミンEEE、ビタミンFFF、ビタミンGGG、ビタミンHHH、ビタミンIII、ビタミンJJJ、ビタミンKKK、ビタミンLLL、ビタミンMMM、ビタミンNNN、ビタミンOOO、ビタミンPPP、ビタミンQQQ、ビタミンRRR、ビタミンSSS、ビタミンTTT、ビタミンUUU、ビタミンVVV、ビタミンWWW、ビタミンXXX、ビタミンYYY、ビタミンZZZ	豚ヒレ肉(国産)、食塩、亜硝酸ナトリウム、リン酸塩、ビタミンB1、ビタミンB6、ビタミンE、ビタミンC、ビタミンD、ビタミンK、ビタミンB12、ビタミンA、ビタミンH、ビタミンM、ビタミンN、ビタミンP、ビタミンQ、ビタミンR、ビタミンS、ビタミンT、ビタミンU、ビタミンV、ビタミンW、ビタミンX、ビタミンY、ビタミンZ、ビタミンAA、ビタミンBB、ビタミンCC、ビタミンDD、ビタミンEE、ビタミンFF、ビタミンGG、ビタミンHH、ビタミンII、ビタミンJJ、ビタミンKK、ビタミンLL、ビタミンMM、ビタミンNN、ビタミンOO、ビタミンPP、ビタミンQQ、ビタミンRR、ビタミンSS、ビタミンTT、ビタミンUU、ビタミンVV、ビタミンWW、ビタミンXX、ビタミンYY、ビタミンZZ、ビタミンAAA、ビタミンBBB、ビタミンCCC、ビタミンDDD、ビタミンEEE、ビタミンFFF、ビタミンGGG、ビタミンHHH、ビタミンIII、ビタミンJJJ、ビタミンKKK、ビタミンLLL、ビタミンMMM、ビタミンNNN、ビタミンOOO、ビタミンPPP、ビタミンQQQ、ビタミンRRR、ビタミンSSS、ビタミンTTT、ビタミンUUU、ビタミンVVV、ビタミンWWW、ビタミンXXX、ビタミンYYY、ビタミンZZZ
保存方法	10℃以下で保存	10℃以下で保存	4℃以下で保存
その他	JASマーク	JASマーク	【アレルギー物質】 豚・乳成分・大豆・卵



成果

オンラインホワイトボードに提示された資料を見比べて考え、話し合う活動を通して、購入に必要な情報の収集、整理が適切にできていた。

ポートフォリオにすることで、これまでの学習内容を振り返りながら理解を深めることができた。

課題

オンラインホワイトボードの操作が複雑であるため、習得するまでに実践の積み重ねが必要である。

画面ばかり見て終わる授業にならないように、どこでどのようにオンラインホワイトボードを使うかの計画を練る必要がある。

リーディング DXスクール事業 【実践事例】

興本扇学園足立区立興本小学校(東京都)【指定校】

【取組内容④】 校務 DX
学校運営反省

学校運営反省では、ドキュメントの共同編集機能を使って、各教員の反省を集めている。それぞれの教員が入力した内容は、他の教員も見ることができる。1つの内容に対して同じ意見を記入するなどの重複が無く、反省集約の効率化が図れた。途中経過も見合うことができ、より建設的な意見が出るため話し合いも活発になった。

令和6年度 学校運営反省

入力しめ切り12月13日(金)

1 教務

No	項目	名前	反省	改善案
1	年間指導計画			
2	年間・月・週行事予定表	飯田	夏休み明けにすぐ通常時程は、大人も子供もきつい。文科省からも、夏休み明けは毎年「自殺予防」の呼びかけがあるし、短縮授業はよい取り組みになると思う。	→時数は足りているので、最初の3日間は、午前授業とする。給食を食べて下校。 管理職預かり 中と小で分けて考える。
		飯田	毎月の「あだちからの日」を4時間授業にしたい。毎日の多忙感を少しでも緩和したい。	→曜日が偏らないように月火木金と順繰りになるよう設定し、4時間授業にする。 時数を計算し、各月に実施の方向で検討する。 小は可・わけて考える
		古田	・4～7月すべてに土曜授業がある。特に5月が学園として忙しい。	→5月は運動会もあり、土曜が2回になる。(東西別運動会になれば3回)。

4 ICT推進

No	項目	名前	反省	改善案
1	教育委員会との連絡			
2	Googleとの連絡			
3	Googleアプリ使用計画			
4	Google実践例集め(小中)	古田	実践報告があることにより、児童生徒のためというより、実践集めのためのICT活用になってしまおう。	→授業で活用した場合は、使った教材を共有する程度にとどめる。(作成したものを共有する) →過負担にならない程度に継続する。
		廣田	各学年・その年の担任ができることの事例報告になっていないか。	→学園としてどんな力をどの学年でつけ、9年間で系統立てて活用していくのかを考えるようにする。(研究の内容になってしまおうかも?) →来年度の研修会の持ち方・系統立てたICT能力の表をキャリア即で検討して提案します。

成果

Googleのドキュメントを使いクラウドで資料を確認することで、職員会議等で印刷する手間を省くことができた。また、資源の節約にも繋がった。

年間を通していつでも入力することができ、多くの意見を集めることができた。

課題

会議で大人数が閲覧する際に、誰かが誤って内容を削除してしまうことがあった。

編集権限や閲覧権限の設定について共通理解することが必要である。